



発行所
滋 臨 技 師 会

事務局
滋賀医科大学医学部
附属病院 検査部
大津市瀬田月輪町

発行責任者
瀬 田 正 憲



恩賜財団 済生会滋賀病院

◇目 次◇

平成21年度新入会員研修会	2・3
輸血・移植部門研修会を開催して	4
輸血・移植部門研修会に参加して	5
血液形態検査研修会を開催して	6
臨床化学・免疫分野合同研修会を開催して・問題解答	7
病理部門研修会 ～ホルマリン対策について～	8・9
7月理事会議事録	10
8月理事会議事録	11
施設紹介（恩賜財団 済生会滋賀病院）	12・13
会員動向	16

平成21年度第新入会員研修会を開催して

組織部理事 誠光会草津総合病院 岡本 暢之



平成21年7月25日(土)に草津市立サンサンホールにおいて平成21年度新入会員研修会を開催しました。当日は、新入会員7名と理事、監事14名、合わせて21名の参加となりました。

最初に瀬田会長の挨拶ではじまり、新入会員の自己紹介、各部門担当理事から技師会活動についての説明がわかりやすく報告されました。当初は、緊張されていました新入会員の方々も会が進むにつれて笑顔がみられるほど有意義な研修会となりました。

技師会活動説明の後、立脇監事より「わたしたちの国際協力」－感染症検査の技術移転への試み－と題してお話していただきました。新入会員、理事の方々も真剣な面立ちで耳を傾けられていました。

研修会終了後の懇親会では理事の方々和新入会員の方々とは和気あいあいとした雰囲気の中で会話しておられ、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

最後に研修会開催にあたりご協力を頂きました会長はじめ各理事監事の方々、そして新入会員の方々にお礼を申し上げます。これからも楽しく会員の交流がはかれる行事を企画して行きたいと思えます。

● 新入会員研修会に参加して ●



恩賜財団 済生会滋賀県病院 山本 まどか

新入会員研修会に参加させていただいて、滋賀県臨床検査技師会がどのような活動をされているのか、また私自身がどのように技師会活動に参加していくことができるのかを知ることができたと思います。また、役員の方々との懇親会では、経験豊かな役員の方々のお話をたくさん聞かせていただくことができ楽しかったです。とてもユニークな方が多くて驚きました。役員の皆様、お忙しい中を本当にありがとうございました。

まだまだ検査技師として未熟ですが、積極的に研修会や講演会、他病院の方々との交流会などに参加させていただいて、少しずつでも成長していけたらと思います。

恩賜財団 済生会滋賀県病院 青木 唯弥

今回、研修会に参加して役員の方から色々話をきかせてもらい技師会の構成、活動内容など理解する事ができました。また、技師会の役員の方や、他の病院の検査技術の方とも、普段なかなか接する機会がない中で研修会を通じて今回たくさん話す事ができ、とても楽しく勉強になりました。

このような機会があればまた積極的に参加したいと思えます。





(株)メディック 山本 倫子

今年度より技師会の一員になるにあたり、新入会員研修会に参加させて頂きました。今回の研修会で、技師会の組織や活動内容を詳しく知る事ができ、意義深いものであったと感じています。特に、国際協力について、実際に海外での活動の様子や、交流活動に関して大変興味深い話を聞く事ができ、今後、こういった活動に私も参加してみたいと思うと同時に、更に自分の視野を広げていきたいと思いました。懇親会では、他施設の方達と交流ができ、有意義な時間を過ごさせて頂きました。また、研修会や講演会など積極的に参加して検査技師としてスキルアップを図りたいと思います。

(株)メディック 大下 由紀

7月25日、滋賀県臨床検査技師会の新入会員研修会に参加させて頂きました。日々の技師会活動について具体的に知らなかったのですが、検査技師に向けた研修会などの活動以外にも、県民に臨床検査の内容と役割を理解してもらうことを目的とした健康フェスティバルへの参加なども行っていることを知り、医療を提供する側・される側両方の活動があるということがわかりました。また臨床検査データ共有化事業については、「どこの病院の検査データでも相互に比較できる」ことを目標としているということで、それが実現されることは患者により良い医療を提供することに繋がるのだと思い、非常に勉強になりました。技師会の国際協力については、発展途上国の人達に検査技術を教えているということを知りました。研修会の参加で初めて知ることばかりでしたが、滋賀県臨床検査技師会について学べた事を今後生かしたいと思います。



誠光会 草津総合病院 木越 紗和子

今年から入会しました木越と申します。今回研修会に参加させて頂き、技師会の組織構成や取り組まれていることなどについて知ることができました。また懇親会では多施設の方々とお話できて楽しく過ごせました。私は、検査技師として知らなければいけないことがたくさんあり、これから多くのことを学んで行かなければならないと思います。そのために技師会で行われている研修会などに積極的に参加し、自分の知識・技術を向上していきたいと思います。様々なところでお世話になりますが、精一杯頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

誠光会 草津総合病院 吉田 名緒

今年から新しく入会させて頂きました吉田と申します。よろしくお願いいたします。今回、新入会員研修会に参加させて頂き、技師会には様々な部署があり、どのように組織が成り立ち、どのような活動をされているのかを知ることができました。また、懇親会では理事の方々や他施設の新入会員の方々とは短い時間でしたが、楽しく過ごすことができ、親睦を深めることができました。これからも技師会の行事に参加し、他施設の方々とも交流を深めることができれば良いなと思います。研修会には積極的に参加し、知識・技術の向上に努めたいと思います。



誠光会 草津総合病院 前田 直美

新人研修会に参加して、検査技師会について様々なことを知る機会を得ました。技師会の開催している研修会などには参加することはありましたが、歴史のある会であること、きちんと構成された組織であること、そして、教育・研究以外に厚生面でも事業も行われていることなど、技師会の概要について知らなかったことも沢山ありました。なかでも興味深かったのは、JICAの国際協力のお話でした。そのような事業まで行われているとは、正直、驚きました。いろいろなお話を聞かせて頂いたあとは、懇親会もありました。役員の皆様は、とても気さくな方ばかりで、楽しいひと時を過ごすことができました。このような会の一員となれたことで、今後も先輩方についていけるよう、しっかり精進していきたいです。

輸血・移植部門研修会を開催して

大津市民病院 松井 まり子



今年は4月下旬より新型インフルエンザが流行し、企画された研修会の中には中止になったケースもありましたが、輸血・移植部門の第1回基礎講習会の開催時期には、新型インフルエンザはおさまり、予定どおり開催することができました。

それから1ヶ月後の7月12日大津市民病院 臨床検査部 輸血管理室において、12名の受講生をお迎えして輸血検査実技講習会を開催しました。

通常では、1名で検査している部屋に受講生12名と研究班員6名の計18名が入り、満員電車並みの狭い部屋での実習でした。クーラーの効きが悪く2箇所のドアを開けていましたが、日直者から『インフルエンザA (+) がでています』と耳打ちされ、暑さを我慢してドアを閉めることになりました。この研修会で集団感染したら・・・と少し心配もしました。

実習の内容は例年同じですが、初心者の方が多かったため受講生2名に1名の研究班員がつき、丁寧な指導をうけていただけたと思います。ただ、時間通りに進行できず最後のまとめの時間が少なかったことを反省しています。

そこで、実技講習会に参加された方に復習問題を作成しましたので、自己点検してください。また、日当直で輸血検査に携われている方もチャレンジしてください。

【血液型検査復習問題】

・・・解答は7ページ

- 1) ABO血液型検査でオモテ検査は、赤血球上の()及び()抗原の有無を確認する検査であり、ウラ検査は、血清(血漿)中の()及び()抗体の有無を確認する検査である。()と()が一致した場合の結果のみ最終判定とする。
- 2) Rh血液型検査を試験管法で行い、直後判定で陰性となった場合は、()と判定する。追加検査として()を行う。その追加検査で使用する抗血清は、直後判定に使用した抗血清と他社のモノクローナル抗体やポリクローナル抗体を使用する。
- 3) ポリクローナル抗体(抗D血清)とモノクローナル抗体(抗D血清)の違いは？
- 4) 試験管法で血液型検査を行ううえで必要な試薬は？
 - ①プロメリン試薬 ②A1血球・B血球・(O血球) ③抗A血清・抗B血清
 - ④スクリーニング血球 ⑤抗D血清(抗Dコントロール) ⑥クームスコントロール血球
- 5) 血液型検査の手順を順番に並べてください。
 - ①検体を遠心し、血清(血漿)と血球に分離する。
 - ②3%血球浮流液を作成し、1回洗浄する。
 - ③試験管に患者名(又はNO)、滴下する試薬名を記入する。
 - ④オモテ検査の試験管に抗血清を1滴、ウラ試験の試験管に患者血清2滴(血漿)、滴下する。
 - ⑤オモテ検査の試験管に患者血球浮遊液(上の②)を1滴、ウラ試験の試験管にA1血球・B血球(O血球)を1滴、滴下する。
 - ⑥混和する。
 - ⑦判定用遠心器で遠心する。
 - ⑧判定後、結果を記入する。
 - ⑨異常反応(ABO血液型の判定でオモテ・ウラ不一致・Rh血液型で判定保留)が見られた場合は再検する。

初級輸血検査実技講習会に参加して

日野記念病院 検査科 吉村 佳奈



私は輸血実技講習会でいろいろなことがよくわかりました。

血液型検査では今までルーチンではオモテ検査、ウラ検査の不一致は見たことがなかったのですが、実際に見てどんな感じなのかわかりました。そのあとどう考えたらいいかもわかりやすく教えてもらいました。D陰性確認試験も今まで実際にしたことがなかったのですが、やり方などがよくわかりました。

不規則抗体スクリーニングの検査では今までは凝集の強さについてよくわかっていなかったのですが、実際に弱い凝集も見られてよくわかりました。不規則抗体の同定

も消去法の次がどうしたらいいかわかっていなかったのですが、何の検査をしたらいいかなど、わかりやすく教えてもらっているいろいろと勉強になりました。

今まで輸血検査ではいろいろとわからないことが多かったのですが、この輸血実技講習会で学んだことで、輸血検査に対して、いろいろと考えながら取り組めるようになったので、これからも頑張っていきたいと思います。

丁寧なご指導ありがとうございました。

輸血検査実技講習会を終えて

済生会滋賀県病院 橋向 圭介

この度は輸血検査実技講習会を開催して頂き、誠にありがとうございました。

私は今年大学を卒業し、新人技師として採用して頂いたため、輸血検査の実技は大学の講義の一環でしかやったことがありませんでした。そのため輸血検査においてあまり自信がなく、今回の輸血検査実技講習会に参加して輸血検査の基礎を学び、業務に活かすことができようと思い、講習会に臨みました。

実技講習会は、前回行われた基礎講習会の内容を元に、実際の検査業務の流れに沿って行われました。生徒二人に対して一人の講師の方がついて下さり、器具の準備の仕方から実際の検査に至るまで、熱心且つ丁寧にご指導して頂き、大変勉強になりました。

試験管の持ち方や判定など多少自己流になっていたこともあり、今回の講習会でご指導を受け、まわりのみなさんと統一することができるようになりました。

またオモテウラの不一致や不規則抗体陽性の場合、どのように考え、どのような追加検査をしていくのかなど、具体的にご指導いただき大変理解することができました。

輸血検査は時に緊急性が要求され、決して間違いがあってはならないため、迅速且つ効率的に、また正確に行えるよう、今回の実技講習会で学んだことを大いに活かして、輸血検査と正しく向き合っていけるよう努力していきます。

最後になりましたが、今回の講習会を企画して下さった松井先生をはじめ、熱心にご指導して下さいました諸先生方、誠にありがとうございました。



血液形態検査研修会を開催して

形態検査部門 血液検査分野長 梅村 茂人



昨年、近畿医学検査学会で兵庫県ジュニアコースについて教えてもらいスライドを見せていただきました。その時に「この内容のスライドなら顕微鏡がなくても講演形式の基礎研修会が出来るかもしれない」と思い、早速その場で講師をお願いしました。そして「血液形態検査の基礎知識」と題して兵庫県のジュニアコース講師を招き、顕微鏡の使い方について始まり末梢血・骨髓像の見方や考え方について学ぶ研修会を開催しました。

当日、研修会場のある草津市では「熱中症注意報」が発令されるほどの暑い日でありました。久しぶりの形態研修会なので、多少暑くても参加者は多めかなと予想していましたが、実際は予想を上回る反響で最後の数名には資料とお茶が当たらなくなるという事態になってしまいました。(すみません) 幸い立ち見には到りませんが、44名という多数の方に参加して頂きました。(感謝) 改めて、この分野に対する関心の強さを痛感しました。

そして研修会内容については、各講師とも流石でした！話し慣れておられるので聞きやすい。スライドは見やすく構成も整理されている。説明はゆっくりと丁寧に行われ時々口頭で詳しい解説が入る。といったように、経験の浅い方を対象とした基礎研修会として申し分ない内容であり、久しぶりに聞き応えのある研修会でした。

さらに、参加された皆さんが非常に熱心に聞き入っておられるのがヒシヒシと伝わってきて、長い研修会にありがちな睡魔との戦いに格闘されている方も今回は見られませんでした！！講師もさることながら参加者の研修会に対する意欲も本当に素晴らしかったです。研修会を終えて参加者名簿を登録後、参加者の多様性に気づき形態基礎研修会のニーズの高さを再認識しました。

今後は滋賀県内で血液塗沫標本を見ながら意見交換が行なえる様な基礎研修会が開催できれば良いと感じ、どのように運営していけばよいかを考えていきます。

最後に、開催者冥利に尽きる充実した研修会にしてくださった講師ならびに参加者の皆さんの熱意に、この紙面をお借りして深謝いたします。ありがとうございました。

<おさらい ○・× クイズ>

・・・解答は7ページ

- 1：油浸レンズの清掃には、石油ベンジンが適している
- 2：血液標本作成は室温4時間以内が望ましいが、染色は翌日でもあまり問題ない
- 3：末梢血標本は、白血球・赤血球・血小板全ての形態を観察するものである
- 4：骨髓検査の際は、なぜ行うのか（疑われる疾患名）や末梢血のデータを把握しておく
- 5：ギムザでは、核クロマチンが繊細なほど・細胞質が青いほど・N/C比が高いほど幼若な細胞と観察される

臨床化学・免疫分野合同研修会を開催して

免疫検査分野長 社会保険滋賀病院 松川 裕一

先日の7月4日(土)午後3時から午後5時まで草津市立まちづくりセンターにて臨床化学・免疫分野合同研修会を開催させていただきました。蒸し暑い日でありまた土曜日という曜日にも関わらず、参加数は技師会会員17名、賛助会員など4名の計21名となりました。

「みんなで理解しよう甲状腺検査」というテーマでSiemensの前田 文明先生に講演をお願いし、甲状腺の解剖・甲状腺ホルモンの生理作用・甲状腺疾患の症状・甲状腺疾患の頻度・診断・治療経過などをとてもわかり易く説明して頂きました。



臨床的にあまり知られていないが甲状腺疾患は意外と多く存在し、診察に来院される患者さんのうち10人から20人に1人は甲状腺になんらかの以上があること、抗TSHレセプター抗体(TRA b)がTSH受容体のどの部位に結合するかによって90%以上が刺激型TRA b(TSAb)になり、残り10%ほどが刺激阻止型TRA b(TSBAb)になるということ、また各疾患の治療過程ではデータがどのように動くかなど、とても解りやすく印象に残りました。

最後になりましたがご多忙の中お集まり頂いた参加者の皆様、協力して頂いた班委員の皆様、とてもわかり易く講演をして下さった前田先生に厚く御礼申し上げます。

【血液型検査復習問題 解答】

- 1) A B A B オモチ検査 ウラ検査
- 2) 判定保留 D陰性確認試験
- 3) ポリクローナル抗体とは、抗D抗体を産生したヒトの血清から調整されたもので、複数のRh(D)抗原決定基と結合する。
モノクローナル抗体とは、細胞融合技術により調整され、特定のRh(D)抗原決定基と結合する(メーカによりRh(D)抗原決定基が異なる)。Ig-MタイプとIg-Gタイプがある。
- 4) ② ③ ⑤
- 5) ①～⑨の順です。必ず抗血清と患者血清(血漿)を先に滴下してくださいね。

【血液検査 おさらい ○・× クイズ 回答】

全て○だよ～ん

第一回病理・細胞分野研修会を開催して

病理検査分野長 社会保険滋賀病院 検査部 林 裕司



特定化学物質障害予防規則（特化則）が改正され、平成20年3月1日より施行・適用され（平成21年2月28日までは猶予期間）、病理検査室におけるホルムアルデヒドの管理濃度が厳しくなり、各病院の病理検査室では対応に苦慮しているところです。

今回、第一回病理・細胞分野研修会として、ホルマリン等の対策で法制化に先駆けて検査部での一括管理に取り組んでおられる宇治徳洲会病院の江口光徳氏を講師に迎えご講演いただきました。

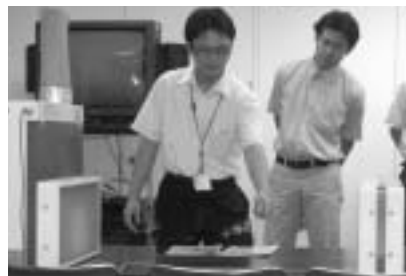
また、特化則改正から約半年を経て、各病院・施設での対策がどうなっているのか、事前に集めたアンケート調査を踏まえて、座談会形式で情報交換を行いました。

アドバイザーとして江口氏と興研株式会社の川端氏に加わっていただき、日頃疑問に思っていること、ぶっちゃけたところ、どう対応しているのか等、当分野では初の試み（たぶん…）である座談会形式の情報交換でしたが、参加者のほとんど全員が発言され、有意義な討論になったと思います。

第1回病理細胞分野研修会に参加して

市立長浜病院中央検査技術科 宮元 伸篤

「この部屋入ると何か臭いな〜。」と言いながら入ってくる事務系職員。確かにホルマリン、アルコール、キシレンなど扱う病理検査ですが、普段からこの環境で仕事をしている僕らは気にならず。すでに私は麻痺してる？ちょっと不安なところに今回の特化則改正。やはり体に悪影響を及ぼすだけに、当院でも容器密閉の徹底や局所排気装置の購入、特定化学物質作業主任者認定資格取得など何とか対応してきました。しかし講師の江口氏の病院では、検査技師以外の病院職員に向けてもホルマリンなどの扱いを徹底し、危機意識・責任意識の浸透させている。スゴイ…。なかなか全てを真似できませんが、作業環境の改善だけでなく、これらの薬剤取り扱いに関しては検査技師からの啓蒙活動が大事だと思いました。コンプライアンスを重視しつつコストを考えねば…。



ホルマリン作業環境に関するアンケート調査の結果

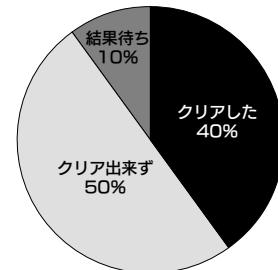
(県内 参加18施設)

1) ホルマリン濃度の作業環境測定を実施したか？

- ・実施した…9施設
- ・未実施…9施設

2) 施した施設では管理濃度をクリアしたか？

- ・クリアした…4施設
- ・クリア出来ず…5施設
- ・結果待ち…1施設



3) 特化則改正以前、何らかの対策をしていたか？

- ・病院新築時に対策済み…3施設
- ・局所排気装置等を設置していた…9施設
- ・特に対策していなかった…6施設

4) 特化則改正以後、何らかの対策をしたか？

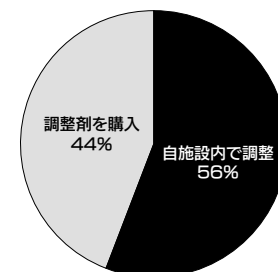
- ・プッシュプル型局所排気装置の導入…3施設
- ・マスクを使用するようにした…1施設
- ・今のところ対策していない…14施設

5) 今後どのような対策を検討しているか？

- ・プッシュプル型局所排気装置の導入…3施設
- ・排気ファンのパワーアップ…2施設

6) ホルマリン液の調整はどこで行っているか？

- ・調整済みを購入…8施設
- ・自施設で調整…10施設
(排気装置の設置場所等で調整等)

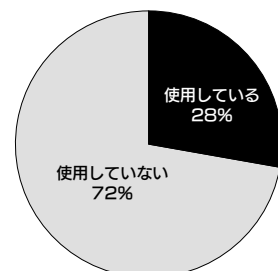


7) 代替ホルマリンを使用しているか？

- ・使用している…2施設
- ・使用していない…16施設

8) 作業中、マスクを使用しているか？

- ・使用している…5施設
- ・使用していない…13施設



9) その他、各施設で工夫していることは？

- ・マスク・手袋の使用。
- ・ホルマリンの発生源を少なくする。
- ・容器の密閉。
- ・ホルマリン中和剤の噴霧。
- ・卓上ドラフトを自作。
- ・容器の蓋を開ける時間を短くする。
- ・標本置き場をビニールシートで覆う。

平成21年7月定例理事会 議事録

日時：平成21年7月2日（木）17:00～18:30
 場所：技師会 会議室
 出席者：吉田孝、入野、竹島、内木、岡本、横山
 大本、吉田忠夫、新川、松村、一岡、速水
 岩井（監事：立脇）
 欠席者：瀬田、桐畑、山本、（監事：阪口）
 司会：竹島 常務理事

4. データ共有化事業の進捗状況について協力施設（滋賀医科大学医学部附属病院）
5. 厚生部事業（放射線技師会との共同企画）
 日時：6月28日（日） 9:15～15:00
 場所：オーパル（大津市雄琴）
 参加者：当会19名、放射線技師会21名
6. 各部局の会計執行状況
 ・毎月報告の旨を確認する。
7. その他
 ・滋賀県がん診療連携協議会における部会委員がん連携（7月1日：入野副会長出席）
 ・滋賀県がんフォーラム実行委員会（7月16日：速水理事出席予定）
 ・滋賀県がん対策推進協議会（吉田副会長出席）

1. 会長挨拶（副会長代行）

2. 報告事項

「日臨技」なし
 「近臨技」

1. 近畿検査技師会会長会議

出席：瀬田会長
 日時：6月10日（水）15:30～19:00
 場所：大阪府技師会事務所
 議題：①近畿医学検査学会（京都府担当）の進捗状況について
 ②日臨技次年度2役立候補調整について
 ③アジアHIV研修への各府県協力について
 ④理事会日程・OB会について
 ⑤近畿地区連絡会議（8月29日：奈良県担当）について
 小崎会長を囲む会を設営する。

2. 臨床検査研修員選考会（JICA受託フランス語圏西アフリカ臨床検査技術コース）

出席：瀬田会長
 日時：6月17日（水）15:30～18:00
 場所：JICA大阪
 出席者：小西、三國（JIMTEF）、JICA、JICE
 担当者、立脇、森嶋、今井、瀬田
 議題：臨床検査研修員10名の選考

「滋賀県」

1. 滋賀県医療関連団体との打ち合わせ

日時：6月19日（金）18:15～20:15
 場所：滋賀県看護協会事務所（草津市）
 参加者：看護協会（藤井会長）、放射線技師会（小川会長）、理学療法士会（並河会長）
 検査技師会（瀬田会長）
 議題：①情報交換について
 ②公益社団法人取得への取り組みについて
 ③今後の共同企画について

2. 常務理事会の開催

日時：6月23日（火）18:00～19:20
 場所：技師会会議室
 参加者：瀬田、吉田、山本、竹島、大本、岩井
 阪口監事、会計ソフト会社関係3名
 議題：①公益法人会計ソフトの説明
 ・導入の方向で理事会に諮る。
 ・費用についての検討をおこなう。

3. 第1回学術雑誌編集委員会の開催

日時：6月18日（木）18:00～19:00
 場所：滋賀医科大学医学部附属病院検査部会議室
 議題：①委員の紹介
 ②経過説明
 ③委員の構成と活動内容について
 ④論文の投稿規定、チェックシートについて
 ⑤今後のスケジュールについて

3. 協議事項

1. 公益法人会計ソフトの導入について
 ・導入の方向で進める。
 ・予算についての対応を検討する。
 ・補正予算を組み、(株)MKC阪口先生に相談、指導のもとに進めて行くことを検討する。
2. 滋賀県医学検査学会（第一地区担当）
 ・記念式典の準備状況について協議
 ・学会・記念式典実行委員会を8月はじめに長浜ロイヤルホテルで開催する。
3. 第1回保健医療従事者研修会の開催について
 ・日時：8月22日（土）13:00～16:30
 ・場所：滋賀県立武道館
 ・テーマ：保健医療従事者のためのメンタルヘルスとパーソナリティ分析
 ・会員の積極的参加を呼びかける。
4. 日臨技公益目的事業の参画について
 ・9月、10月 がんに関する企画 締め切り8月末
 ・12月 HIV 締め切り10月末
 12月5日（土）、12日（土）を候補日とし、会長、講師と調整する。
 ・2月 生活習慣病 締め切り12月末
 ・事業内容の調整は可能か再度、各理事は検討する。
 ・申請の送付先は、日臨技常務理事（森嶋氏）
5. 各市町村の健康祭りの把握について協議
 ・第一地区：彦根健康フェスティバル
 10月12日（月）
 ・第二地区：石部の宿まつり
 10月17日（土）
 ・第三地区：おおつ健康フェスティバル
 10月18日（日）
6. 新入会員研修会の開催について協議
 ・日時：7月25日（土） 13:00～
 ・場所：草津市立サンサンホール
7. 各部の連絡
 事業部：精度管理試料7月12日発送
 広報部：7月終わりに広報誌239号を発行
 厚生部：9月6日バーベキュー（永源寺を予定）
 会計部：各部局は月々の会計報告提出を徹底

議事録署名人 吉田 孝
 竹島 通

平成21年8月定例理事会 議事録

日時：平成21年7月25日（土）13:00～15:00
 場所：草津市立サンサンホール
 出席者：瀬田、吉田孝、入野、竹島、内木、岡本
 横山、大本、新川、松村、一岡、速水、
 岩井（監事：立脇）
 欠席者：吉田忠夫、山本、桐畑、（監事：阪口）
 司会：新川 理事

1) 会長挨拶

2) 報告事項

「日臨技」なし

「近臨技」なし

予定

1. 近畿地区連絡会議

日時：8月29日（土）

場所：三笠（奈良市）

2. 近畿理事会 および 小崎会長を囲む会

日時：8月29日（土）

場所：三笠（奈良市）

3. フランス語圏西アフリカ臨床検査技術コース

の開始：8月1日～10月25日

・JICA研修員説明会

日時：8月4日（火）15時～

場所：JICA大阪

「滋賀県」

1. 各部の会計執行状況について

2. 公益法人会計ソフトについて

・(株)MKC阪口先生に相談、指導のもと検討中。

3. 地区支部会の活動について

・第一地区：支部会議：8月6日（木）

・第二地区：支部会議：7月10日（金）

・第三地区：支部会議：7月16日（木）

・参加賞に技師会名の入ったボールペンを準備

4. その他

・滋賀県がんフォーラム2009第1回実行委員会：速水理事出席

3) 協議事項

1. 新入会員研修会の開催について協議

日時：7月25日（土）13:00～

場所：草津市立サンサンホール

2. 滋賀県医学検査学会（第一地区担当）について協議

日時：平成22年2月28日（日）

場所：長浜ロイヤルホテル

3. 学会・記念式典準備委員会について協議

次回実行委員会会議開催日

日時：8月6日（木）

場所：長浜ロイヤルホテル

4. 地区支部会の活動について協議

第一地区：支部会議の開催

日時：8月6日（木）を予定

場所：長浜ロイヤルホテル

・彦根健康フェスティバル

日時：10月12日（月）

第二地区：石部の宿まつり

日時：10月17日（土）

第三地区：大津市健康フェスティバル

日時：10月18日（日）

* 各地区の事業の日程が近い日にあり、パネル等の利用に関しては受け渡しに注意のこと。

* 役員、役割については各地区において検討

5. 学術雑誌発刊について協議

滋臨技だよりに論文募集、投稿規定、委員名を掲載する。

6. 日臨技公益目的事業の参画について

・9月、10月 がんに関する企画

今回は該当無し

・12月 HIV 12月12日（土）

会場：草津市立まちづくりセンター

・2月 生活習慣病

他団体とのジョイント開催を検討する

7. 滋賀県医師会精度管理事業について

・細胞、生理以外は試料発送終了

8. 第1回保健医療従事者研修会の開催について

日時：8月22日（土）13:00～16:30

場所：滋賀県立武道館

テーマ：保健医療従事者のためのメンタルヘルスとパーソナリティ分析

9. その他

・野洲事務所の契約を更新する。

・各部局への会員からの質問事項をまとめ、問い合わせ先部局の案内を具体化し、広報誌に紹介するように進める。

・技師会の団体として契約しているアフラックについて、会員に案内をおこなう。

4) 各部の連絡

事業部：政治連盟の会員滋賀県2名

組織部：会員名簿8月発行予定

広報部：広報誌を8月に発行予定

厚生部：永源寺バーベキューを案内中

次回の行事を12月13日（日）に予定

総務部：日臨技選挙が来年実施される。

平成21年度複十字シール運動後援名義の使用の承諾を行う。

議事録署名人 入野 保

竹島 通

訂正とお詫び

滋臨床技だより（第239号）の中に誤りがありました。訂正させていただくとともにお詫び申し上げます。

訂正内容：7ページ 会員動向（平成21年6月4日現在）勤務先の変更

誤：250302 川原 晶 → 正：250302 河原 晶

施設紹介

恩賜財団 済生会滋賀県病院

済生会滋賀県病院と検査科の歩み

臨床検査科 坂田 専蔵



平成16年6月に新病院が完成しました。

済生会の発足は明治44年2月11日明治天皇が「救療済生」の精神に基づく医療の方針を打ち出され、滋賀県においても大正13年大津診療所が開設されました。

その後、昭和12年に済生会滋賀県病院と命名され栗東に移転されたのは昭和37年の事です。その後昭和55年に増改築を行い、

検査科の「あゆみ」としましては昭和37年4月大津より栗東町の地に157床の病院として新築移転したときは検査科は独立した組織として中央化されたと記録に残っています。当時は技師1名と助手3名で検査業務を行っていたみたいです。その後、昭和50年には検査技師6名、検査助手4名と検査科の人数を増え検査科の組織としての位置づけも重要視され、昭和53年1月に生化学12項目同時測定自動分析機（日立706D）が導入され生化学検査も前年度に比べ4倍以上の増加率になっています。当院ではCRP検査が自動分析器で測定できるようになり生化学部門で行ったのは昭和60年とされていて歴史を感じさせられます。その後に生化学・血清という部門も免疫化学と統合され現在に至っています。血液検査も昭和61年には8項目同時測定の（オルソー社製ELT8/ds）が導入され検体数も日々増加し昭和52年と比べると約3倍の伸びと記録されています。細菌検査は20～30%の増となりやや横ばいと記録されています。その後も診療科が増え本来の検査技師の業務である心電図や脳波・肺活量などの昭和50年頃から片手間でしていた生理検査業務も専任化してきています。病理検査は昭和56年に新本館の建築改装を機に病理検査室を増設され専任技師2名で行われてきました。歩みを振り返ると懐かしく感じさせられます。

現在では、病院も病床数393床となり診療科24科、職員数685名で3次救急指定病院となり検査科も総勢31名の大世帯で内訳は（病理医師2名、検査技師20名、非常勤技師4名、非常勤看護師2名、外部委託者3名）で構成されています。採血業務も検査科で行いMRI検査も1名が出向しています。診療支援として電子カルテ化も進み心電図や画像までが手元の端末で見ることが出来ます。



現在の検体検査室のようす（血液検査）

また、管理面でもIT化が進み試薬管理はもちろんのこと、入退勤の把握や技師長が残業や休暇の許可を行い一覧で見られるため技師の総合管理にも役立っています。医師や病院職員への伝達はメールでの配信や院内ネットで情報が得ることも出来ます。紙を使わないエコロジーに取り組んでいます。



臨床検査科のスタッフ：筆者（前列右から二人目）・馬場部長（前列右から三人目）
*当日勤務者のみ

会 員 動 向

(平成21年7月25日現在)

総会員数 520名 (敬称略)

新入会員	会員番号	氏 名	所 属		
	254617	吉村 佳奈	医療法人社団昂会日野記念病院		
	254618	上田 紗耶加	医療法人社団昂会日野記念病院		
	254619	奥村 有史	琵琶湖養育院病院		
再入会	会員番号	氏 名	所 属		
	254483	小林 敏子	社会保険滋賀病院 (平成21年7月25日現在)		
転 出	会員番号	氏 名	転出先		
	254494	奥村 早央里	福井県		
	254525	坂口 悟	奈良県		
自宅会員	会員番号	氏 名	退 会	会員番号	氏 名
	250071	上田 豊和		250137	西秋 徳男
	250078	拝藤 あい子		250247	服部 昭夫
	250080	井上 修三			
	254485	笠島 信一			

会 員 動 向

(平成20年9月1日現在)

総会員数 527名 (敬称略)

新入会員	会員番号	氏 名	所 属	退 会	会員番号	氏 名
	254619	奥村 有史	琵琶湖養育院病院		254225	川崎 直人
	254620	伊吹 美穂	財団法人 近畿健康管理センター		254442	高橋 薫
	254621	久保 香子	財団法人 近畿健康管理センター		254406	谷 綾子
	254622	西中 和子	長浜赤十字病院		250102	谷口 泰則
				254440	井手 美希子	

施設代表者の変更

施設番号	施 設 名	連絡責任者
9250052	財団法人 滋賀保健研究センター	山崎 真嗣
9250063	医療法人社団昂会日野記念病院	清水 陽子
9250051	琵琶湖養育院病院	奥村 有史

第49回近畿医学検査学会

会 期：平成21年11月28日 (土)・29日 (日)
 会 場：京都市勧業館 (みやこめっせ)
 主 催：近畿臨床検査技師会
 担 当：(社) 京都府臨床検査技師会
 テーマ：見方が変わると、仕事が変わる
 ～臨床目線で検査をみる～

第240号滋臨技だより

2009年10月1日

発行所 滋賀県臨床検査技師会
 編集者 吉 田 孝
 岩 井 宗 男
 新 川 由 基
 印刷所 平田印刷